

IV期		1月 ~ 3月
園児の姿 (発達の姿)		<ul style="list-style-type: none"> ○食事や排泄などの基本的な生活習慣がほぼ自立し、生活に興満しを持ち、進んで身の回りのことをしようとしている。 ○寒くても体を動かして遊ぶことで身体が温まっていく心地よさを感じ、友達と誘い合いながら運動遊びや集団遊びを楽しんでいる。 ○友達と自分の思いを伝え合いながら一緒に遊ぶ中で、相手の思いに気付いたり、自分の思いを受け止めてもらう喜びを味わったりしている。知りたい、伝えたいという気持ちも高まり、言葉での表現が増えている。 ○霜柱や氷、雪などの冬の自然物に触れたり、自然の変化に気付く喜びを感じたりする中で、不思議さや面白さを感じ自然物への興味関心を深めている。また、自然物でのごちそう作りや体験したことを遊びに取り入れた造形遊びを通して達成感や充実感を味わっている。
期のねらい		<ul style="list-style-type: none"> ○友達と一緒にルールを守りながら、体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ○友達と一緒に遊びを楽しみながら、相手の思いに気付く。 ○興味や関心をもったものに、じっくりと関わって遊ぶ。
教育・保育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）	経験する内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールやなわとび、固定遊具を使い、投げたり、跳んだり、ぶら下がったりして遊ぶ。(健康) ・保育教諭や友達と一緒に、集団遊びや運動遊びを楽しみ進んで体を動かす。(健康) ・簡単なルールのある遊びを通して、みんなで遊ぶ楽しさや、ルールを守って遊ぶ楽しさを知る。(人間関係) ・異年齢児との触れ合いの中で、憧れの気持ちを持ち、大きくなった自分を感じたりする。(人間関係) ・冬の自然現象や春に向かう季節の変化に関心を持ち、触れたり感じたり遊びに取り入れれたりする。(環境) ・生活や遊びの中で、身の回りの物の色や数、量や形などに興味をもつ。(環境) ・友達と一緒に遊ぶ中で、友達の話や思いを言葉で伝えたりする。(言葉) ・ごっこ遊びの中で、絵本や日常生活での言葉を楽しんで使ったりしながら遊ぶ。(言葉) ・身近な素材や用具を自分なりに工夫して使い、遊びに必要な物を作ったり用意したりしながら、ごっこ遊びを楽しむ。(表現) ・経験したことや感じたこと、想像したことを制作や遊びに取り入れて、言葉や動き、絵などで表現する。(表現)
	◇環境構成・☆援助	<ul style="list-style-type: none"> ◇寒い中でも戸外で遊びたいよう、なわとびやボール、ランニングバイクなど楽しみながら体を動かして遊べる用具を園児の手の届きやすい場所に置いたり、保育教諭が楽しそうに遊ぶ姿を見せたりする。 ◇友達と一緒に遊びが少しずつ発展しながら継続していくよう、配置の位置について配慮し、園児が進んで遊べるような空間を作る。 ◇数や色、文字の形などに興味をもてるよう、素材や用具は色や形の選んで分類し、文字を添え4、園児の目線に合った所に置いておく。 ◇冬の自然に触れたり、体で感じたりできるように、透明の容器やバケツなど遊びに使えそうな物を置いておく。 ◇友達と一緒に思いを伝え合いながら遊びが楽しめるよう、園児同士でルールを考えたり相談したりする時間を十分に確保していく。 ◇やりたいと思うことが十分にできるように、余裕をもって時間配分をしたり、素材を十分に用意したりしておく。 ☆保育教諭が積極的に戸外に出て、体を動かす遊びに誘い、体が温まる心地よさや体を動かして遊ぶ楽しさが感じられるようにする。 ☆ルールのある遊びを繰り返し行う中で、嬉しさや悔しさに共感し、みんなで一つのことをして遊ぶ楽しさが味わえるようにする。 ☆思いが上手く伝えられずいざこざになった時は、一人一人の気持ちを受け止め話を聞いたり、互いの気持ちに気付くよう言葉を補ったりして友達との関わり方を知らせていく。 ☆保育教諭も一緒に遊ぶ、発見した喜びや不思議に思う気持ちに共感していくことで、自然の面白さに気付いたり、遊びに取り入れれたりすることができるようにする。 ☆園児同士の会話を見守ったり、共感したりすることで聞くことや話すことが楽しいと感じられるようにする。 ☆一人一人の園児の興味や自発性を大切に、進んで表現しようとする姿や園児同士で遊びを進めようとする姿をしっかりと認め、自分から表現しようとする気持ちの育ちに繋げていく。
	予想される遊び	
保育資料 (教材・絵本等)		<ul style="list-style-type: none"> ○歌 (十二支の歌・雪だるまのチャチャチャ・コンコンコンコクジャン・ゆき・まめまき・おにのパンツ・うれしいひなまつり・はるがきた) ○絵本 (十二支のはじまり・おなかのなかにおにがいる・おにはそと・おいしいひなまつり・くれよんシリーズ・はらぺこあおむし) ○制作 (正月飾り・凧・コマ・ゆきだるま・鬼のお面・ひな飾り・折り紙) ○集団遊び (転がしドッジ・フルーツバスケット・サッカー・だるまさんがころんだ・はないちもんめ・じゃんけん列車・フルーツバスケット) ○菜園活動 (花の水やり)
行事		<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・防火教室 ・節分 ・キッズサッカー ・ひな祭り ・お別れ会 ・伝承遊び ・参観日 ・幼児交通安全教室 ・内科検診 ・修了式
健康・食育・安全		<ul style="list-style-type: none"> ○風邪や感染症などの話を通して手洗いうがいの大切さを伝え、自分から丁寧にこなう習慣をつけていく。 ○当番活動を通して、献立の名前を言ったり、材料を考えたりすることで、材料、食材の変化に興味をもてるようにする。 ○正しい箸の持ち方を意識できるように視覚的に知らせたり、その都度正しい持ち方の伝えたりする。 ○お正月、節分、ひな祭り等の行事を通して、日本の伝統的な食文化(行事や食べ物の由来や食べ物)に興味関心が持てるようにする。 ○伸び伸びと体を動かして遊ぶよう、固定遊具や用具の安全点検をしたり、園児の人数や経験に合わせた場所の広さや遊びのルールを工夫したりする。
家庭の連携・保護者支援		<ul style="list-style-type: none"> ・年末年始の様子を聞いたり、園での様子を伝えたりしながら、生活のリズムが整うよう連携していく。 ・感染症にかかりやすい時期なので、園児の健康状態を把握し、手洗いうがいの習慣を身に付けると共に、家庭でも気を付けてもらうよう伝える。 ・個人相談の中で保護者と園児の育ちを伝え合い、来年度に繋げていく。 ・園児が体をしっかり動かして遊んでいること、厚着していると汗をかいたり、怪我に繋がったりしやすいことを伝え、動きやすい服や着脱しやすい服を用意してもらおう。 ・一年間の園児の様子を伝え、個々の成長を喜び合うと同時に、進級に向けて大切にしたいことについて一緒に考えていき、園児が進級への期待をもち活動できるようにする。
地域・小学校との連携		<ul style="list-style-type: none"> ・地域探検で、寺に初詣に行き、地域の伝統的な建物や行事に興味や関心をもつ。 ・八朔を食べたり、八朔をもらったお礼をしったりすることで、地域の人達との関わりを深める。 ・日本の伝統的な遊びを地域の人達と楽しむ機会をつくり、地域との交流を深めていく。(伝承遊び) ・〇〇のおじちゃん、おばちゃんとの関わりをもつ。(焼き芋、ピザ) 【地域探検】・〇〇広場(高揚げをしよう、集団遊びをしよう)・〇〇寺(初詣に行こう)・〇〇公園(自然物を探そう) ・〇〇神社(梅を見に行こう)・〇〇山道(山道を歩こう・景色を楽しもう・春の草花を探しに行こう) ・〇〇公園(焼き芋をやいてもらおう)・海(〇〇〇〇)生き物や貝殻を探そう
ねらいに対する評価		